「トンキーよ 永遠に」 東・西中で合同鑑賞教室

5月22日(火)たかしんホール(中央公民館)に、東・西中学校の全生徒が集い演劇を鑑賞しました。戦時中に東京上野動物公園で行われた、動物たちの殺処分の様子を演じた劇でした。 高鍋の中学生に、戦争の悲惨さや平和の尊さについて改めて教えてくれた感動の鑑賞教室でした。

戦争を起こしてしまうと、罪のない人間や動物などが死んでしまいます。一人でも死んでしまうと、多くの人がどれだけ悲しむのかを教えてくれる劇でした。もう二度と戦争が起こらないように、日頃から、争ったり、人を傷つけることを言ったりしないようにしたいと思います。また、このことを後の世代の人たちにも伝えて、平和な世界になればいいなと思います。 (生徒の感想から)

## **プールの清掃をしていただきました**

6月中旬から始まる体育の水泳の授業に備えて、保護者4人の方々にプールの清掃をしていただきました。5月28日(月)の午前中、小雨の降る中でしたが、3台の高圧洗浄機を使いながら約3時間の作業をしていただきました。

決して新しい施設ではありませんが、お陰さまできれいなプール環境の中で今年も水泳の授業ができます。ご多忙の中にご協力いただいた4人の保護者のみな様(児玉淳史様、中村光男様、正崎利彦様、戸髙史弘博様)に心から感謝いたします。



## あいさつ運動 ありがとうございます!

東中では毎月第2水曜日の朝に、各地区で保護者によるあいさつ運動を実施しています。 下の表は5月の登校時の生徒の様子です。保護者のみな様のご協力に感謝いたします。

あいさつ運動の様子 (平成30年5月実施分、提出されたものを掲載しています。)

| 地域  | No | 地区               | 感想(紙幅の関係で、一部要約している例があります)  |
|-----|----|------------------|--|
| 菖蒲池 | 7  | 蚊口中              | 自分からあいさつをする生徒はいなかった。   |
|     | 8  | 蚊口下              | 少し肌寒い朝でしたが、元気に登校していました。ただ、少しあいさつの声が小さかったです。                                  |
|     | 11 | 樋渡               | あいさつは、進んでできていた。車やバイクも徐行していた。見通しが悪い。注意が必要。                                    |
|     | 12 | 中鶴               | 小学校時よりあいさつをする子どもが増えた。自転車通生が交差点で一時停止をしなかった。                                   |
|     | 15 | 菖蒲池西             | なし。  |
|     | 17 | 下屋敷              | 皆、元気よくあいさつをする。通勤の車や通学の自転車がスピードを出すので、一人一人が気を<br>つけて横断してほしい。                   |
| 町   | 23 | 中央通•東町           | こちらがあいさつをすると素直に返してくれた。交通量が多く、やはり見守り隊の存在はありが<br>たい。あいさつの声が大きくなるとさらに元気が出そうである。 |
|     | 24 | 中町·六日町<br>石原·十日町 | 連休明けだったが、みんな元気よくあいさつをしていた。道路の左側を歩いている生徒もいた。                                  |
|     | 25 | 南町               | 7時から20分間、徒歩・自転車通生ともに多い。ほとんどの生徒が気持ちの良いあいさつをする。                                |
|     | 27 | 小丸·小丸上<br>小丸下    | 特になし。  |
|     | 28 | 宮越・宮越上<br>宮越下    | 気持ちの良いあいさつができていた。車の交通量が多く、なかなか止まってもらえない。                                     |
|     | 34 | 脇•太平寺            | 交通ルールーを守って登校していた。  |

原則として、毎月第2水曜日実施ですが、生徒数が少ない地区はこの限りではありません。実施されたときに、ご報告いただければありがたいです。

## 「父の日の お花は庭の 紫陽花で」

6月17日(第3日曜)は父の日です。あるホームページに「父の日川柳」がいくつか載っていました

「父の日川柳」がいくつか載っていました。 「父の日は 忘れ去られて 陰うすい」「父の日は 笑ってあげる 親父ギャグ」 「父になり 日に日につのる 親への感謝」

自分が言われて一番うれしい言葉は何かと聞かれたら、私はいつも「おとうさん」と答えます。私には中学2年になる子ども(息子)が一人だけいます。42歳の時にやっとできた子どもで、一人だけでも子どもを授ることができたことを本当に有り難いと思っています。新聞などで「虐待」などの記事を見ると、いつも心を痛めます。私が小5の時に父が病死したこともあり、「おとうさん」という言葉は、私にとって特別な言葉です。自分の子どもから「おとうさん」と毎日呼んでもらえることは、本当に有り難いことで、口に出したことはありませんがいつも感謝しています。

ただ、子どもを育てることは簡単ではありません。試行錯誤の毎日です。時々強くしかりすぎて後悔することがあったり、甘やかしているかなと思ったりすることもあります。親としてこれでいいのかなと迷うことがたくさんあります。

「父の日」が近くなり、子どもがいることに感謝をしながら、この子が社会的に自立できるようにしっかりと育てることが、私の、親としての一番の責任であると考えたところでした。